

西国巡礼慈悲の道

西国第二十六番

法華山

一乗寺

一心称名

山主 太田實秀



当山の金堂大悲閣は百六十二段の石段を登った所に在り、この石段は「法華のきざはし」と呼ばれ、土地の老人さんにはきついが、巡礼さんは流石にさつさと登られる。

ある日、参拝を終えた若い女性が軽やかに石段を降りて来て橋を渡った所でくると金堂に向き直り、合掌して深々と一礼し、ゆっくりした足取りで帰路につかれた。彼女の自然な所作

は、心から安らぎを得て仏

恩に感謝されていることの現れのように見え、清々しい空気が流れた。その後が続くように三人、四人と次々と一礼して立ち去って行く参詣者のどの顔も実に穏やかな何とも言えぬ清々しさに満ちていた。

この様に清々しいお顔になれるのは、一心に何度も「南無観世音菩薩」とお唱えして（一心称名）、観音様に自らの願いや苦しみを

聞いて頂き、心の内をお伝えになったからでありましょう。そして観音様が、その音声を聞かれてその内容を観察され、そして解決の手を差し延べられ、苦しみを抜き楽しみを与えられることを信じておられるからであります。

観音様は、この様な衆生済度の為に、三つの仏身、六種の天身、五種の人身、四衆身、四種の婦女身、童男童女二身、人非人八部衆、一執金剛神の三十三身に化身して、現世で迷える衆生を転迷開悟させて済度されます。

この観音様の化身の三十三の数にちなんで西国観音霊場の数は三十三に定められたとされます。

唯、一心に「南無観世音菩薩」とお称えする「一心称名」によって感應道交して抜苦与樂の結果となるところが観音信仰の有り難いところなのであります。



西国第二十六番

いちじょうじ
法華山 一乗寺

天台宗別格本山

御本尊／聖観世音菩薩 開基／孝徳天皇勅願法道仙人開山

はる 春ははな なつ 夏はたちばな あき 秋はきく
いつも妙なる のりのはなやま



✽ 主な年中行事 ✽

正月三ヶ日 初詣（お守、おみくじ、お札授与）

1月5日 修正会

2月3日 節分会

3月18日 春彼岸会

4月4日 定例宝物拝観日（10時～15時）

5月3日～8日 花祭大祭（8日は本祭）

8月21日 施餓鬼会

9月21日 秋彼岸会

10月15日 開山会

11月5日 定例宝物拝観日（10時～15時）

❀ 観音風光 ❀

平成23年9月の大雨で、奥の院の賽の河原の上部で土砂崩れが起き、土石や立木や石段が流失し、川が埋まって地藏院が床上浸水しました。24年には土砂崩れを起こした所にダムが建設されました。25年度は、奥の谷の河川改修とダム建設が終り、現在は全自動消火設備の工事を進めております。開山法道仙人を祀る幽邃な奥の院の風光を早く取り戻したいと念じております。

ご詠歌の意味

春には桜、夏には橘、秋には菊の花が咲くように、いつも有難い仏様の教えの花が咲いている妙法蓮華のお山です。鳥の声、梢の音も、観世音菩薩の大慈大悲のお声が聞こえます。

〒675-2222 兵庫県加西市坂本町821-17

TEL 0790-48-2006(本坊)・4000(納経所)／FAX 0790-48-3848

納経時間 午前8時30分～午後5時

宝物館拝観は2週間までに往復葉書・FAXにてお申し込みください。

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。